

K A W A K A M I D A M 2010 川上ダム通信 8月号



独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami>

利水者等川上ダム現地見学会の開催

平成22年7月7日(水)、利水者および関係機関の皆様を対象とした**施設見学会**を開催しました。伊賀市をはじめ大阪府や奈良県など12機関24名の参加がありました。この見学会は、多くの利水者のみなさまに川上ダム建設事業をはじめ、川上ダムの果たす役割や建設事業の現状、また、周辺に位置するダムについて深く理解していただくことを目的に実施されたものであります。

午前中は、川上ダム建設所内で所長から建設事業の経過概要について説明をいたしました。

説明終了後、現場へ行きダムができる場所やコンクリートに使う骨材を採取する原石山の位置のほか、水が貯まった後にはどのくらいの高さまで水が来るか、などを全体の位置関係及び各工事の進捗状況を交えながら、パネルを使って説明をさせていただきました。

その後、ダムサイト左岸に位置する**仮排水路トンネル工事現場**、**オオサンショウウオ保護池**、**付替県道青山美杉線工事現場**に向かい、各現場担当者から工事概要の説明、進捗状況、オオサンショウウオの保護対策や生態の説明をさせていただきました。

参加者の中には、オオサンショウウオを初めて見た方もおられた様子で、物珍しそうに観察され、熱心にメモをとったり、写真を撮ったり、また、質問をしていただき、ダム事業の進捗状況を肌で感じておられた様子でした。

今回の施設見学会は、水資源機構としても、参加者の方々からコスト縮減の継続に対する貴重な意見をいただき、また、各機関が抱えている問題、課題を聞くことができ、大変貴重な場となりました。雨が降る中、参加していただいた利水者及び関係機関の方々、ありがとうございました。

【関西支社利水者サービス課 富士澤誠】



仮排水路トンネル工事現場



オオサンショウウオ保護池

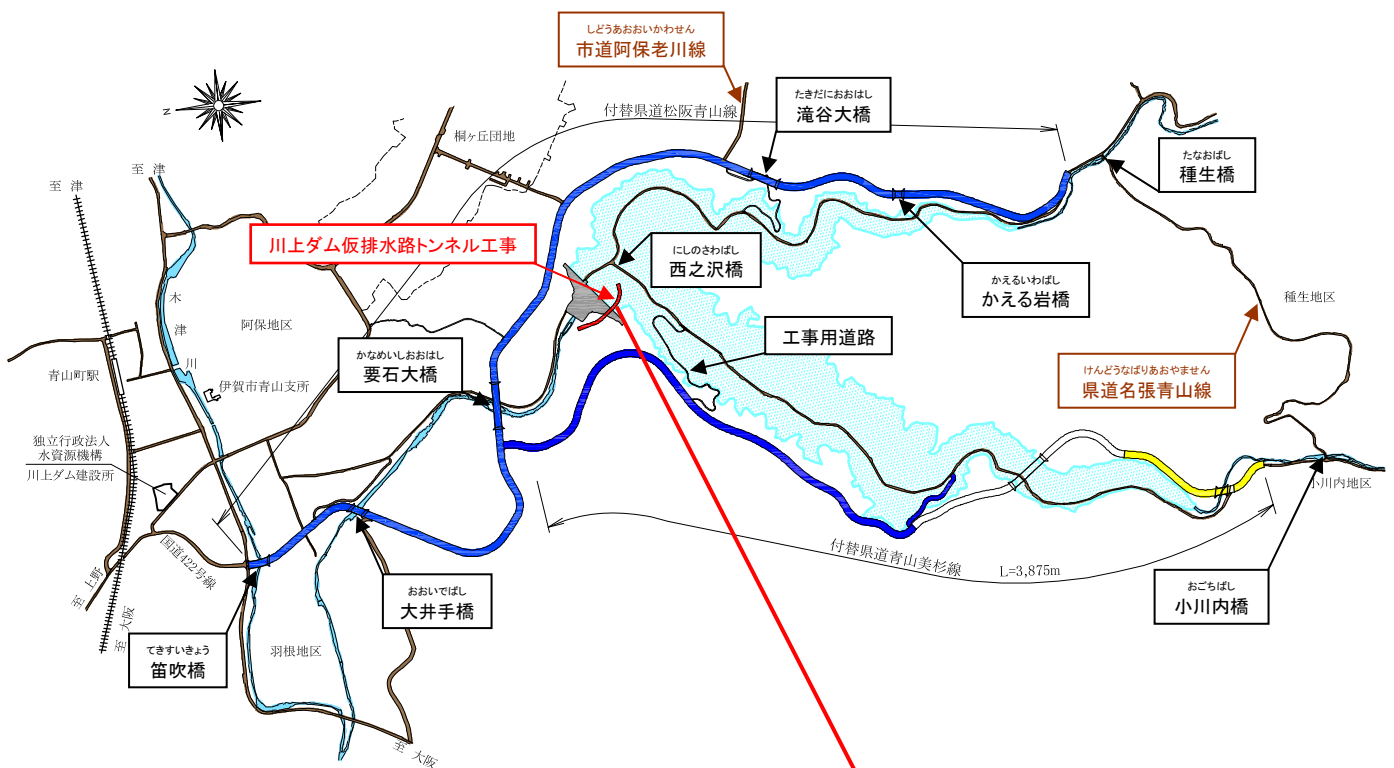
工事の進捗について

～仮排水路トンネル工事の状況について～

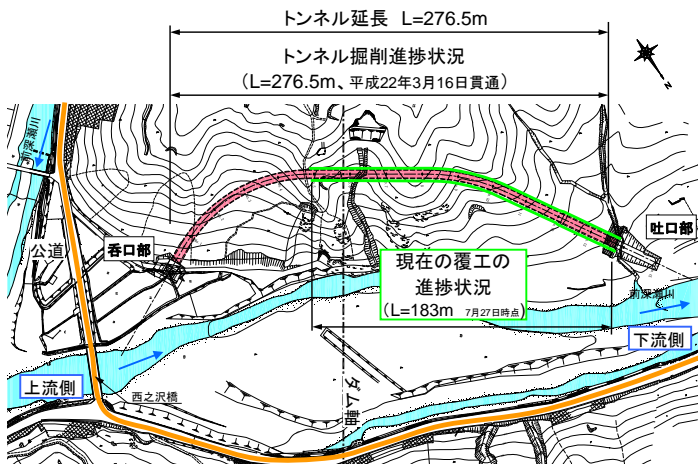
平素から川上ダム建設事業につきまして、ご支援、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。前回の7月号で紹介させて頂きました**仮排水路トンネル工事**のトンネル内部をコンクリートで覆う作業が、**7月27日現在で183m（総延長276.5m）**まで進みました。予定では8月末には、コンクリートで覆う作業も終わる予定です。

コンクリートを運ぶミキサー車が一部供用を開始した**県道青山美杉線**を運行しております。今後も一般車両優先で工事を進めて参りますので引き続き工事へのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

【工事課 出尾陽一】



仮排水路トンネル工事



コンクリートで覆われたトンネル内部の状況

平成22年度 優良工事請負者表彰

7月6日（火）、川上ダム建設所ふれあいホールにおいて、川上ダム安全協議会が主催する「平成22年度優良工事請負者表彰式」が行われました。これは、前年度に施工された工事の中から、労働安全衛生への取り組みが優秀であり、年度内または竣工までの間、無災害で完成した工事を「**安全部門表彰**」として表彰するものです。

審査の結果、今年度は「**川上ダム仮排水路トンネル工事**」を施工された「**株式会社大林組**」が**安全部門表彰（年度表彰）**を、「**付替市道第2工区（その3）工事**」を施行された「**坂口・水谷経常建設共同企業体**」が**安全部門表彰（竣工表彰）**を受賞されました。

「川上ダム仮排水路トンネル工事」は作業場自体が大変狭く、作業位置は一般道と河川に挟まれている施工環境にありましたが、常日頃からの安全管理の徹底、危険意識の向上に努められ、物損事故や水質事故などの災害を未然に防ぐことができました。

「付替市道第2工区（その3）工事」箇所は、本年2月に一部供用した主要地方道青山美杉線の施工区間でありました。無事に供用開始を迎えることができたのも、工事中における安全対策が徹底され、無事故で竣工していただいた上でのことかと思えます。

今後も川上ダム安全協議会では、無事故無災害に向け、安全を確保するためのさまざまな取り組みを進めていきます。
【工務課 鈴木弘二】



表彰式

第9回 植物図鑑シリーズ 地元で見られる植物

今回は湿地の植物について紹介します。湿地とは、その名のとおり沢・湖・河川などの近くでじめじめした場所のことを言います。伊賀地域の湿地は、山腹からの湧き水が滞留するような場所や、池や沼が土砂などで堆積した場所などで局所的に見られます。陸域でも水域でもない中間的な立場にある湿地は、多様な生態系が形成され、そこには多くの植物が生育しています。こうした湿地は、かつては随所に存在していましたが、近年の開発行為などにより減少してきています。

また、一部の種では乱獲などの人為的要因により、個体数の減少に拍車をかけています。湿地自体が人間の生活に密着していないため、今すぐ保全するのは難しいかもしれませんが、貴重な植物が多い湿地をできるだけ保全していきましょう。そのような湿地を見かけたら、むやみに取り壊さないよう見守りましょう。地元で見られる湿地の植物の一部を紹介します。写真上）**ウメバチソウ**（ユキノシタ科） 開花時期：8～10月

写真下）**サギソウ**（ラン科） 開花時期：7～8月



ウメバチソウ



サギソウ

【環境課 水野正明】

第2回 シリーズ「伊賀市周辺の水辺の土木」

川から水を引き込む ～井堰～

“井”には“区画整理された水田”という意味があり稲作にはとても関連深い漢字です。川から水を引くための施設を「井堰（イゼキ）」、「井手（イデ）」、「井（イ、ユ）」と呼び、そこから水田に水を引く「井路（イロ、イジ）」と呼ぶことがあります。木津川やその支流にはたくさんの「井堰」があり、周辺の水田を潤しています。今ではコンクリートを用いた堅固な施設となっていますが、以前は石材を積み上げたもので台風などで大水が出ると壊れてしまうため何度も補修が必要でした。毎年、田植えの前には「井子（イゴ）」（同じ水路から田に水を引く農家の共同体）が集まり古畳等を井堰にあてがって水路に水を導く「井手あげ」と呼ばれる作業を行い、稲の刈り入れが終わると古畳を撤去し元に戻す「井手落とし」を行っていました。また、新たに井堰を造り用水を引き込もうとすると、その井堰の下流の人たちにとって死活問題になりかねないため、必要以上の水を引き込まないように余分な水を川に戻す仕組みを備えています。

【調査設計課 金山明広】



前深瀬川新田井堰



余水吐き

INFORMATION

七夕祭 ～笹の葉に願いを♪～

織姫と彦星が再会する7月7日。青山よさみ幼稚園やさくら保育園では、七夕祭が開催されました。今年も川上ダム建設所より、事業用地内に植生する笹を採取し、園児のみなさんに送らせていただきました。

【総務課 堀雅智】



たくさんの願いごと
(さくら保育園)



織姫と彦星の物語
(青山よさみ幼稚園)

EVENT

第10回 河川環境フェスティバル

河川敷で鮎のつかみ取りや環境パネルの展示を行います。つかみ取りをした鮎を河川敷で塩焼き（お皿持参）にして食べられます。

○日時：8/7（土）午前9時～午前11時（受付時間10:45まで）

○場所：伊賀市青山支所北側木津川河川敷

○問い合わせ先：伊賀市青山支所 住民福祉課

TEL：0595-43-0158

上野天神祭

伊賀上野の夏のお楽しみイベント「市民夏のにぎわいフェスタ2010」を開催します。ストリートマーケットやパフォーマンス満載の「楽市・楽座」が開かれます。

○日時：8/22（日）午後12時～午後9時

○場所：市内銀座通り・本町通り上野駅から徒歩5分

○問い合わせ先：市民夏のにぎわいフェスタ実施委員会

TEL：0595-21-0527

編集後記

いよいよ夏休みシーズンに入りました。心弾ませ、涼を求め、山や海などをはじめとした行楽地にお出かけをする方もいらっしゃると思います。暑い日が続いておりますので、熱中症には十分注意してください。また、河川で遊ぶ際は夕方などに降る突如の雨による増水に気をつけて楽しい夏休みをお過ごしください。

【広報誌発行事務局】

編集長 及川 拓治（川上ダム建設所長）

デスク 吉岡 直也（総務課長）

〃 柳生 光彦（工務課長）

通信記者 加藤 晶久（第一用地課）

〃 堀 雅智（総務課）

〃 松高 遵（第二用地課）

〃 森岡 浩然（調査設計課）



ISO14001：2004
JQA-EM5769

☆☆皆様からのご意見・ご感想をお待ちしています。
ハガキやメール等でお寄せください。☆☆☆
◇川上ダム建設所はISO14001を取得し、環境保全を推進しています。◇